

サーリネンとフィンランドの美しい建築展

展覧会図録

フィンランドのモダニズムの原点を築いた
国民的建築家エリエル・サーリネンの展覧会。
北欧デザインを愛する人必携の図録。



建築家・都市計画家・家具デザイナー・教育者・画家——エリエル・サーリネン(1873-1950)のフィンランド時代の代表作を紹介する日本初の本格的展覧会の公式図録です。片ツヤのカバーの下に、北欧アールヌーボーの傑作、ポホヨラ保険会社ビルディングのらせん階段がのぞく、ブルーのドロップ形があしらわれた表紙がさわやかです。

本書は、ナショナル・ロマンティシズムの旗手と称された初期の代表作から、1923年の渡米までのエリエル・サーリネンのフィンランド時代にスポットをあて、1900年パリ万国博覧会フィンランド館、ヘルシンキ中央駅、暮らしの理想を体現した自邸ヴィトレスクといった代表作を、美しい図版を多数用いて紹介します。さらにシカゴ・トリビューン本社ビル国際設計競技を経て、北欧発～アメリカ・ミッドセンチュリー・モダンにつながる系譜を解き明かします。

フィンランド国立博物館、フィンランド建築博物館他から展覧会に出品された、サーリネン研究の第一級資料を掲載。エリエル・サーリネンの代表作を日本語で総覧できる唯一の本です。

コデックス装を採用しているため、見開きページは大きく開いて作品図版をご覧ください。目に優しい濃淡のブルーで綴られたテキスト、洗練されたデザインで、専門家のみならず一般の方々も楽しめる建築展図録となりました。全出品作品図版を巻末に掲載。一部バイリンガル。デザインは大溝裕 (Glanz)。

「その建築ドローイングは私に決して消えることのない印象を残した。それからずっと、エリエル・サーリネンの作品は私にとって特別なものになった。」

——アルヴァ・アアルト 1946年

サーリネンとフィンランドの美しい建築展

展覧会図録

【主な収録内容】

[巻頭テキスト]

エリエル・サーリネン：フィンランドから世界へ…ティモ・トゥオミ

[図版と解説ページ]

- ・プロローグ…サーリネンの建築理念を育んだ森と湖の国、フィンランド
- ・第1章…フィンランド独立運動期—ナショナル・ロマンティシズムの旗手として
- ・第2章…ヴィトレスクでの共同制作—理想の芸術家コミュニティの創造
- ・第3章…住宅建築—生活デザインの洗練
- ・第4章…大規模公共プロジェクト—フィンランド・モダニズムの黎明
- ・エピローグ…新天地、アメリカ—サーリネンが繋いだもの

[資料編]

- ・エリエル・サーリネン関連年表
- ・出品作品リスト
- ・英語テキスト 他

会場価格：2,500 円（税込）

会 期：パナソニック汐留美術館 2021年7月3日（土）～9月20日（月・祝）

発行年：2021 年

発 行：株式会社キュレイターズ

B5 変型判 縦 230mm 横 182mm 厚さ 16mm 192 ページ

ISBN 978-4-901745-31-4

一般書店やインターネットからもご購入いただけますが、販売価格が異なります。

2,500 円+税